

社会教育における ICT 活用を考える

関東学院大学 吉田 広毅

1. ICT と教育

1.1 複合概念としてのメディア

- ・装置
- ・メッセージ
- ・材料
- ・環境

1.2 ICT 活用教育のかたち

- ・ICT「から」学ぶ
- ・ICT「によって」学ぶ
- ・ICT「について」学ぶ

1.3 教育授業過程へのメディアの導入の視点

- ・テクノロジー・プッシュ
- ・デマンド・プル

1.4 ICT 活用による教育改善の視点

- ・これまでやっていたことの効果を高める
- ・これまでやっていたことの効率を高める
- ・これまでできなかったことをやる

1.5 テクノロジー導入の段階 (Puentedura, 2010)

- ・Substitution (代替)
- ・Augmentation (拡張)
- ・Modification (変容)
- ・Redefinition (再定義)

2. 地域教材の教育利用

2.1 地域教材の教育活用の意義

- ・地域住民、地域の教職員等の生涯学習の援助
- ・地域に独特な知識の開発・保存と利用

2.2 デジタルアーカイブの推進

「デジタル技術を用いて文化財を保存・修復・展示し、また文化財情報として蓄積・整備しデータベース化すること」(デジタルアーカイブ推進協議会, 2000)

2.3 地域教材のネット配信のねらい

- ・施設の活動の周知・広報
- ・地域の歴史、文化の普及・継承の方策
- ・保有教材の利便性、利用率の向上
- ・学校における映像教材の利用促進
- ・地域 e-ラーニング事業の一助
- ・地域住民の交流の場の提供
- ・地域住民の発表・表現の場の提供
- ・地域のブランディング事業の一環

2.4 地域映像教材等を制作する際の留意点：マルチメディアの原理（Mayer, 2009）

- ・一貫性（coherence）の原理
- ・標識化（signaling）の原理
- ・冗長性（redundancy）の原理
- ・空間的近接（spatial contiguity）の原理
- ・時間的近接（temporal contiguity）の原理
- ・分割（segmenting）の原理
- ・先行学習（pre-training）の原理
- ・モダリティ（modality）の原理
- ・マルチメディア（multimedia）の原理
- ・人格化（personalization）の原理
- ・声（voice）の原理
- ・画像（image）の原理

3. 社会教育における SNS の活用

3.1 地域 SNS による生涯学習・社会教育推進の方策

- ・住民参画の推進
- ・情報発信、表現の場の提供
- ・地域の歴史・文化の開発、普及、継承
- ・コミュニティ・ビジネスの促進

3.2 地域 SNS 活性化の方策

- ・後見人制度
- ・コメントファシリテーター
- ・公的認証の付与
- ・オフライン・コミュニケーションの促進

4. ICT と社会教育研修

4.1 教育におけるニーズの分類

—規範から基準、現場からの基準、要請としての基準、比較による基準、未来からの基準

4.2 研修の Needs と Wants

- ・ Needs : 「必要」 「要求」
- ・ Wants : 「欲求」

4.3 公民館等で広がる新たな情報発信

- ・ オンライン公民館の開催
- ・ オンライン講座の配信

4.4 「反転」による社会教育研修

「基礎的な知識・技術の習得を家庭での個別のオンライン学習で行い、知識・技術を活用した応用的な協働的な学習を対面学習で行う学習方法 (Bergmann & Sams, 2012)」

- ・ 反転学習の利点
 - ✓ 対面学習を協働や共創、課題解決のための場に行うことができる
 - ✓ 結果として、「学習時間」の増加につなげられる (Tucker, 2012)
- ・ 反転学習の注意点
 - ✓ 個別学習の教材：視聴するだけで知識・技術が定着するものとする
 - ✓ 一対面学習：対面学習の充実を図るために行う

5. 社会教育における遠隔交流学習

5.1 遠隔交流学習の形態

- ・ 講義型
- ・ 課題提示型
- ・ コメント型
- ・ 交流型

5.2 遠隔交流学習のねらい

- ・ 交流 (Communicate)
- ・ 協働 (Collaborate)
- ・ 共創 (Co-create)

5.3 遠隔交流学習におけるコーディネーション

- ・ 環境の設計
- ・ 学びの設計
- ・ コミュニケーションの設計

5.4 遠隔交流学習におけるファシリテーション

- ・ 動機付け
- ・ 学習管理
- ・ テクニカルサポート

6. 社会教育におけるメディア情報リテラシー教育 (MIL)

6.1 MIL 教育の目的 (UNESCO, 2013)

- ・未来の市民としての能力の育成
- ・情報とメディア・コンテンツをクリティカルに評価するための基本的スキルの形成
- ・情報社会の発展と自由で独立した多様なメディアの促進

6.2 民主主義社会参加のために求められる能力 (UNESCO, 2013)

- ・情報・表現の自由や多様な考え方、異文化対話、寛容のためのツールとして用いる能力
- ・民主的な討論に貢献する能力
- ・メディアと情報に関する批判的能力
- ・図書館やアーカイブス、その他の情報源を活用する能力

6.3 デジタル・ストーリーテリング

「人々が、通常は自分自身の人生や生活について、短いオーディオビデオストーリーを作るためにデジタルメディアを用いることを学ぶワークショップ実践 (Hartley, 2009)」

6.4 フェイクニュースとファクトチェック

6.5 多文化共生と MIL

- ・ステレオタイプ
- ・ヘイトニュース
- ・プロパガンダ

〔参考文献〕

- Bergmann, J., Sams, A. (2012). *Flip you Classroom: Reach Every Student in Every Class Every Day*, *International Society for Technology in Education*.
- デジタル放送教育活用促進協議会. (2008). 文部科学省 委託研究「地上デジタル放送の教育活用促進事業」報告書 (平成 19 年度)
- 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター. (2010). 「インターネットを活用した社会教育研修に関する調査研究」報告書 (平成 21 年度)
- リベスタス・コンサルティング. (2011). 「学校及び社会教育施設における情報通信機器・視聴覚教育設備等の状況調査」報告書 (平成 22 年度)
- Mayer, R. E. (2009). *Multimedia Learning*. Cambridge: Cambridge University Press.
- 文部科学省. (2011). 「教育の情報化ビジョン～21 世紀にふさわしい学びと学校の創造を目指して～」
- 日本視聴覚教育協会. (2006). 「『視聴覚教育メディア研修カリキュラムの標準』の改正に関わる調査研究報告書」.
- Puentedura, R. R. (2010). “A Brief Introduction to TPACK and SAMR” Available: www.hipposus.com/rrpweblog/archives/2011/12/08/BriefIntroTPCKSAMR.pdf
- 生涯学習審議会. (2000). 「新しい情報通信技術を活用した生涯学習の推進方策について (答申)」文部省. (http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/12/shougai/toushin/001213.htm)
- 内田洋行教育総合研究所. (2017). 『「人口減少社会における ICT の活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」遠隔学習導入ガイドブック 第 2 版』
- Tucker, B. (2012). “The Flipped Classroom: Online instruction at home frees class time for learning,” *Education Next*, Winter. pp. 82-83.
- UNESCO. (2013). *Media and Information Literacy: Policy & Strategy Guidelines*. UNESCO.